

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

1057

狂犬病予防事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	3	人と動物が共生できる社会の実現

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	狂犬病予防費		
	大事業	狂犬病予防事業		
中事業	狂犬病予防事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律		関連課	生活保健課 辻本聡美 488-2032

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	犬の飼養者に対し狂犬病予防法に基づく登録と予防注射の実施率を高めることにより、狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止する。		狂犬病予防に基づく犬の登録と狂犬病予防注射の実施と狂犬病予防法及び動物の愛護及び管理に関する法律並びに和歌山県動物の愛護及び管理に関する条例に基づく犬または猫等の保護。				
事業内容			令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			・狂犬病予防集合注射会場(37か所) ・犬の登録頭数(19,746頭) ・狂犬病予防注射頭数(10,965頭) ・登録、予防注射の実施についての啓発数(4回)	・狂犬病予防集合注射会場(37か所) ・犬の登録頭数(20,299頭) ・狂犬病予防注射頭数(11,192頭) ・登録、予防注射の実施についての啓発数(4回)	・狂犬病予防集合注射会場(37か所) ・犬の登録頭数(20,871頭) ・狂犬病予防注射頭数(11,698頭) ・登録、予防注射の実施についての啓発数(4回)	狂犬病予防法違反者に対する指導、飼養者に対する適正飼養の啓発、犬の登録と狂犬病予防注射済票の交付、集合注射の企画、犬または猫等の保護。	狂犬病予防法違反者に対する指導、飼養者に対する適正飼養の啓発、犬の登録と狂犬病予防注射済票の交付、集合注射の企画、犬または猫等の保護。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,929	2,756	4,671	4,524	3,014	2,942	3,135	0	3,135	0
伸び率(%)	△26.4%	△25.2%	59.5%	64.2%	△35.5%	△35%	4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,599	7,326	5,818	6,594	6,432	6,208	3,067	0	3,067
	正規職員以外	4,139	4,291	6,402	6,421	5,390	5,348	6,347	0	6,173
	小計	12,738	11,617	12,220	13,015	11,822	11,556	9,414	0	9,240
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	1,400	1,300	0	0	0	0	0	0
その他	10,808	10,588	10,166	10,713	10,553	11,365	10,666	0	10,666	0
一般財源(税等)	△7,879	△7,832	△6,895	△7,489	△7,539	△8,423	△7,531	0	△7,531	0
所要人数(人)	正規職員	1.08	0.92	0.75	0.85	0.86	0.83	0.41	0.00	0.41
	正規職員以外	1.91	1.98	2.57	2.58	2.39	2.37	2.57	0.00	2.48
主な予算内訳	機械等借上料1,186千円、消耗品費493千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	狂犬病予防集合注射会場	箇所	目標値	37	37	37	35	35
			実績値	37	37	37		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
活動指標	啓発活動数	回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	4	4	4		
			達成度(%)	66.7%	66.7%	66.7%	%	%
成果指標	狂犬病予防接種率(実施頭数/登録頭数×100)	%	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	56.1	55.1	56.0		
			達成度(%)	80.1%	78.7%	80.0%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	国内で狂犬病が発生した場合でも犬の予防注射率が70%以上であればそのまん延を防止できるとされているが、現在のところ市内の犬の注射率はそれを下回っている。市内で飼育されている犬の注射率を上げるために事業の充実が必要である。
見直し・改善内容	市報やホームページ等の様々な媒体を通じて、犬の登録と狂犬病予防注射率を上げるための啓発を実施する。